

今日のキーワード 『年末年始の旅行』は節約志向が緩みそう

大手旅行会社では、毎年アンケート調査などに基づいて『年末年始の旅行』の動向について発表しており、その時々景気動向が反映され、消費や景気を読み解く参考にもなります。なかでもJTBの調査は、航空会社の予約状況、JTBの販売動向なども加えた推計で、1969年の調査開始以来、今年で49回目となっています。今年の調査は、11月2日～14日に、全国15歳以上79歳以下の1,200名を対象に行われました。

ポイント1

年末年始の総旅行者数は前年比+1.0%

海外旅行者数は過去最高を更新、国内旅行者数も増加

- 大手旅行会社JTBが発表した調査によると、2017年12月23日～2018年1月3日までの間に出発する旅行者の数は、前年比+1.0%の3,027万4千人と、前年から増加する見込みです。内訳をみると、国内旅行者数は同+0.9%の2,957万人と増加しました。また、海外旅行者数は同+2.8%の70万4千人と2年連続で増加し、過去最高かつ初の70万人超となりそうです。
- 海外旅行者数は、これまで2013年が過去最高でした。2013年以降は、為替が円安に転じたことや国際情勢の影響などにより2015年まで減少しましたが、格安航空会社（LCC）の路線増加やカジュアルなクルーズ船による船旅など、国内旅行以外にも選択肢が広がり、旅行者数の増加につながったと見られます。

ポイント2

国内旅行の費用は増加の見込み

割安運賃の増加等から海外旅行費用は減少

- 昨年は国内・海外とも旅行費用が前年比で大幅に減少しましたが、今年は国内旅行費用が増加する見込みです。海外旅行費用は前年比▲0.4%とわずかに減少する見込みです。
- 近年のLCC拡大など割安な航空運賃が増加していることや、アジアなど近距離志向の高まりにより、海外旅行費用は減少していると見られます。



今後の展開

節約傾向は続くものの、年末年始は節約の度合いが緩みそう

- 総務省の家計調査報告では、旅行に関する費用は節約傾向が見られます。JTBが実施した『年末年始の旅行』に関するアンケートでも、今後1年間は旅行支出を「増やしたい」との回答が前年から減少したものの、『年末年始の旅行』については「昨年よりもお金をかけて豪華に過ごす予定」との回答が10.2%と、「昨年よりもお金をかけず質素に過ごす予定」の6.6%を上回りました。家計の節約志向は続くものの、昨年よりも休暇が取りやすいことなどもあり、『年末年始の旅行』については節約の度合いが緩みそうです。

ここも チェック!

2017年12月18日 『日銀短観』は11年ぶりの高水準

2017年12月 8日 『ヒット商品番付』には“ウチ”関連がランクイン

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。